

那須烏山ジオパーク構想推進事業

事業代表者 教育学部 教授 松居誠一郎

構成員 教育学部 教育学部長 伊東 明彦

1. 事業の目的・意義

まし1 烏山市の地質的な資産を生かし、教育や観光での活用を目指して、ジオパークとしての認定を受けることをめざす。こうした活動を通じて地域の活性化をはかり、地元住民が地域に誇りをもって生活できることを目指すとともに、地n i 域外の人々の自然史に対する学習意欲に応えられるようにする。

地域の人々と、地域外の人々が、地質を通じて交流でき、

地域の活性化を図ることができることに意義がある。

2. 研究方法（又は事業内容）

(1) 那須烏山ジオパーク推進協議会への協力

那須烏山ジオパーク構想推進協議会を設立し、推進協議会には伊東教育学部長が参加し、下部組織の幹事会、専門部会に松居が委員として参加する。

(2) ジオパークガイド養成講座等の指導

ジオパークして認定を受けるには現地案内に地元住民が積極的にかかわることが求められている。そのためボランティア・ガイドの養成を市役所が企画した。この養成講座に参加して、地質についての基礎知識や現地での観察方法などについて指導をおこなった。



図 1. ボランティアガイド養成、野外実習



図 2. ボランティアガイド養成講座参加者

3. 事業の進捗状況

協議会を年度初めに開催し、基本方針を策定した。5月にジオパークネットワークによる認証審査を受けた。4月以降、5回にわたりガイド養成講座を開催した。

4. 事業の成果

今年度の認証審には残念ながら、通過することができなかった。プレゼンテーションのなど今後改善すべき課題は明らかになっている。ボランティア養成は順調に進み、参加者の積極的主体的な参加姿勢に今後に対する大きな希望が感じられた。

5. 今後の展望

平成30年度の認証取得に向けて、すでに準備が始まっている。また来年度もボランティアに対する養成講座が継続され、新規の参加者の開拓と現在のメンバーのさらなる能力向上をめざす。